

【神奈川県 開成町】

校務DX計画

1 GIGAスクール構想

(1) GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議の提言を踏まえた課題

解決に向けての取組

現在、校務支援システムはクラウド基盤を利用している。

一方で、校務系ネットワークと学習系ネットワークは分離しており、端末は校務用端末と教員用端末を分け、2台での運用となっている。また、各学校にサーバーを配置していることから、GIGAスクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議の提言に沿った校務環境は構築できていない。

まずは令和8年度におけるネットワーク機器更新に際して、デジタル行財政改革会議（第5回）で発表された「教育DXに係る当面のKPI」に記載のある「教職員の働き方改革にも資するロケーションフリーでの校務処理」ができるよう、現環境を見直し、検討していく。

(2) GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリストによる自己点検結果

校務DX化チェックリストにおいては、学校、学校設置者それぞれの課題と共通課題が顕在化した。下記に、該当する質問項目を整理し、その対応策について記載する。

1. 学校

GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校向け）

No.	質問項目	回答（割合）	割合
30	業務にFAXを使用していますか。	使用している	100%
31	保護者・外部とのやりとりで押印・署名が必要な書類はありますか。	ある	100%

・質問項目30

FAXの主な利用場面について、令和6年10月に本町で町内全教員を対象に調査を行ったところ、

「教材の発注などの物品注文」「民間企業とのやりとり」「他校との連絡」などが挙げられた。

FAXの用途は発注先環境に依存する側面も大きく、直ちに新たな方法へ移行することが難しいが、

デジタルツールを活用し連絡を取り合うよう対応を進める。

・質問項目31

押印・署名が必要な場面について、令和6年10月に本町で町内全教員を対象に調査を行ったところ、「回議・起案書類」「通知表」「出席簿」などが挙げられた。

不必要な作業の一掃に向け、校務支援システムと連携させる、現在導入しているGoogle Workspace等

クラウドサービスを利用するなど、クラウド化できる作業について検討する。

2. 学校設置者

GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校設置者向け）

No	質問項目	回答
17	学校や教職員からフィルタリングに関する要望があったときに柔軟に反映する仕組みや体制を整えていますか。	整えていない

フィルタリングは未導入であるが、今回のGIGA端末更新の補助金交付の要件として「Webフィルタリング機能や端末の稼働状況を把握する機能を備えること」が設けられている。これに伴い、令和6年10月に本町で町内全教員を対象に「どのようなフィルタリング機能を有するソフトウェアが望ましいか」調査を行ったところ、「有害なサイトのブロック」「学校外でのフィルタリング適用」「書き込み・検索キーワード検知機能」という意見が挙げられた。

これらの機能や端末の稼働状況を把握する機能を具備するWebフィルタリングの導入を検討する。

3. 学校、学校設置者における共通課題

GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校向け）

No.	質問項目	回答（割合）	割合
7	学校説明会や保護者面談などにオンライン形式を取り入れていますか。	全くしていない	100%
18	職員会議等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施していますか。	全くしていない	100%

GIGAスクール構想の下での校務DX化チェックリスト（学校設置者向け）

No	質問項目	回答
2	教育委員会主催の研修で端末利用・持ち込みを基本とし、クラウドサービスを活用していますか。	活用していない
3	教育委員会主催の研修について、オンデマンド視聴を取り入れていますか。	取り入れていない
4	教育委員会主催の研修について、資料をクラウド上にアップロードしいつでも参照できる環境としていますか。	全くしていない

学校、学校設置者ともに、学校説明会や会議、研修のハイブリッド開催が進んでいない実態がある。現状の把握とともにまずは、教育委員会主催の研修にオンデマンド視聴を取り入れるなど段階的に教職員がオンライン形式に慣れていく場を設ける。